

平成 23 年度 第5回 天草地域自立支援協議会 定例会報告

1. 日 時：平成 23 年 11 月 16 日(水) 14 時 00 分～15 時 30 分

2. 場 所：天草市民センター第2会議室

出席者：苓南寮（松岡）、ぴ～す（長山）、星光園（高橋）、グリーン（荒木）、
本渡通勤寮（坂本）、上天草市（佐々木）、天草市（大西、池田）

3. 内 容：

議題

（１）天草地域自立支援協議会 定例会について

○資料 1，2 ページで説明（池田）

今回は、就労移行支援と就労継続支援 A 型の事業所に集まっていた日頃の支援の中の課題等をそれぞれ出し合って情報の共有を図る。

（２）個別のケースについて

○それぞれの事業所の現状について報告

- ・苓南寮…・移行支援は定員 6 人で 5 人の利用者がいる。（知的の方が増えている）
 - ・就職歴のない方が 2 人、言葉が出ない（指示は通る）1 人いる。
 - ・18、20 才と若い方が新規で入っているが、コミュニケーション能力や社会常識の不足があり支援が必要である。
 - ・能力が高い人が 2 人いるので何とか就職に結び付けたい。
 - ・就業・生活支援センターや相談支援事業所からの紹介が増えている。
 - ・職場実習先の開拓がなかなか進まない。
 - ・B 型と併設で事業をしており、B 型へ流れる傾向がある。（移行支援 単独の方がいい）
 - ・養護学校からは毎年 1 人は入っている。
 - ・企業訪問を進めてほしい。
- ・ぴ～す…・12 人の定員で利用者は 13 人（上天草市 2 人、苓北町 2 人、グループホームから 2 人）
 - ・冷凍麺の生産を始めた。
 - ・小川水産（倉岳町）へ施設外就労を行っている 3～10 人
 - ・観光協会のイルミネーション関係で蓄光石の受注を受けている。
 - ・ビニールハウスを借りれなくなって、農作業が休止状態
 - ・就業・生活支援センターとの連携は今のところない。
 - ・利用者の状態の波が全体的にある。
 - ・本人の状態が悪い時（入院が必要と思われる）先生が入院と言われないケース、他の利用者の作業に影響する。→地域活動支援センターを利用。

自由意見

- ・金銭管理は入所、グループホームの利用者の一部でしている。
- ・在宅者で浪費がひどい利用者は家へ訪問をしている。
- ・61才の利用者、親と2人暮らしで親が老人ホームへ入所され在宅からグループホームへ入居となった。(2年に1回位同じようなケースがある)
- ・団体生活をしていないと入所やグループホームの利用も難しい。
- ・服薬管理はほとんど本人でできている。1人だけ管理をしており、休んだ日は薬を自宅へ持っていき行く。
- ・工賃最高7万円位の人もある(ぴ〜す)、毎月作業評価をつけて工賃を見直している。
- ・利用者の中にはA型よりB型の方が適していると思われる方もいる。(他の事業所では難しい)
- ・本人の意識2通りある。仕事がしたい、お金が欲しい(長くつづかない)
- ・夜間の体制は、苓南寮(宿直1人)、ぴ〜す(グループホームに宿直1人)
- ・グループホーム、ぴ〜すは満室、苓南寮は2部屋空いている。1万円の家賃助成が始まったが、就労意欲が落ちている者もいる。
- ・移行支援事業だけでは経営的に難しい。支援者のスキルが求められる、利用者の確保等
- ・共同受注の体制が作れないか? 県の授産施設協会の振興センターを参考に
- ・実習先の確保 → 就労部会での作業(企業訪問)を進めてほしい。

(3) その他

事務局から

ユメールからの展示販売の案内について、授産製品のカタログについて状況報告。